

# 「刊行に当たって」

”明日のTOKYO“作文コンクールは、一般財団法人東京都人材支援事業団が実施する公益事業の一環として、都内在住又は在学の中学生を対象に毎年実施しており、三十回目を迎えました。

今回は、「わたしたちの心のつながり〜誰かと支え合うために〜」というテーマで募集を行ったところ、四、九六六編と多くの応募をいただきました。

東京都では、人が輝く「未来の東京」を創り上げるための様々な取組を進めています。一方で、昨年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日常生活等において人と人の接触の制限が続きました。このような状況の今だからこそ、「人と人とのつながり」を敢えて意識して、「心のつながり」の重要性を再認識することは有意義であると考えます。そこで、将来、未来を切り拓く中学生の皆さんには、「人と人とのつながり」の輪について過去の経験を基に、新たに具体的な想像を巡らせることなどを通じて、様々な背景や価値観をもった人が集まる東京で、多様性を尊重する意識をはぐくむ一助としていただきたいという趣旨のもと、今回のテーマを設定しました。

私も応募作品を拝読させていただきました。皆さん一人ひとりが「心のつながり」について、若い感性のもと自分自身の考えをそれぞれに工夫を凝らして表現していただき、大変感銘を受けるとともに、頼もしく感じました。これからも、皆さんがこの作文を書く中で感じた思いを胸に、誰もがいきいきと生活し、みんなと支え合う社会の一員として、将来の夢に向かって取り組んでいただきたいと思えます。

この作品集は、皆さんから寄せられた数多くの素晴らしい作品の中から、受賞された二十一編の作品を掲載したものです。これらの感性豊かな作品を、都民の方々にご覧いただくことで、より多くの方に「心のつながり」の大切さを感じていただければと思います。そして、これからも、都民一人ひとりが輝き、活力を生み続ける東京にしていくために、”明日のTOKYO“を担う中学生の皆さんが健やかに成長し、ご活躍いただけることを心から願っております。

結びに、この作文コンクールの実施に当たり、ご尽力いただきました、東京都教育委員会、一般財団法人東京私立中学高等学校協会をはじめ、多くの関係者の皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。

令和四年一月

一般財団法人東京都人材支援事業団理事長 山手 斉